

## ■ 収支見通し(一般財源ベース)

参考資料2

現行税財政制度を前提に歳入を見込み、歳出は各局の計画額(見込額)をベースに一定の調整を行い、収支見通しを算定したもの

(単位:億円)

	21年度当初予算	22年度配分案	対前年度増減額
歳入(一般財源総額)	3,723	3,692	▲ 31
歳 出	3,723	3,784	61
① 重点政策経費	161	161	0
② 義務的経費	2,255	2,303	48
人件費	800	804	4
扶助費	449	483	34
公債費	978	991	13
その他の義務的経費	28	25	▲ 3
③ 局裁量経費	520	492	▲ 28
④ 区裁量経費	4	4	0
⑤ 個別調整案件	118	154	36
⑥ 特別・企業会計繰出金等	665	670	5
収 支 差 額	0	▲ 92	

### ● 重点政策経費の要求基準の考え方

平成22年度における重点政策経費については、161億円(前年度同額程度)を確保しているが、要求基準を下記のとおりとし、柔軟に対応する。

- |   |  |   |                  |
|---|--|---|------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成22年度における重点課題」への対応策にかかる事業</li> <li>・継続事業</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>……所要額(シーリングは設けない)</li> <li>……前年度予算額を上限</li> </ul> | } | 161億円 + $\alpha$ |
|---|--|---|------------------|